

「地方創生カレッジ in 東京」 ワークショップ等の成果のポイント

1. 地域課題・テーマ

- (1)自分が住んでいる地域、または関わりのある地域について分析する。
- (2)地域にあるものを戦略的に組み合わせ、どう生かすかを考える。
- (3)考えたことを実現させるために、自分にできる具体的な目標を立てる。
※(1)～(3)いずれも「やねだん」の取組を参考として

2. 現状と問題点

- (1)地域を知るための「視点」や分析するための「キーワード」がわからない。
- (2)地方創生の実現とはどのようなことを言うのか、具体的なイメージがつかめていない。
- (3)「やねだん」の事例を聞くだけでなく、地域に生かすための要素を学びとることが必要である。

3. 目指すべき方向性・将来像と実現に向けた具体的施策

- (1)「やねだん」の事例をふまえ、各地域の特性について、一人ひとりが「五感」「四季」「ひと・もの・こと」などの項目をマトリックスに分析し、各地域にあるものや強み・弱みを把握する。
例：春から秋にかけて、田植え～稲刈り体験ができる、夏は大きな祭りがあり人が大勢集まる、四季を通じて体験型観光ができる、など。
- (2)自分にできることを考え、行動目標をたてる。
例：地域の情報を調べてみる、自分自身が地域のイベントに参加してみる、SNSを活用して情報発信する、など。

4. 今回のワークショップやディスカッションを通じて得た気づき(官民連携、人材交流の効果等)

(参加者の感想から)

- ・様々な属性(地方公務員、一般企業の社員、自営業など)の人との意見交換により、新たな視点や考え方に触れることができた。
- ・「やねだん」の事例を学んだ感想や意見をワールドカフェやグループワークを通して参加者同士が共有できたことは、学びを深めることにつながった。
- ・豊重さんの話に引き込まれ、胸が熱くなった。
- ・eラーニングを受講した後にセミナーを受講したので、内容の理解が深まった。
- ・自分の地域のことを他の人に伝えることで、自分の地域の特徴や強みを知ることができた。

「地方創生カレッジ in 東京」 ワークショップ等の成果のポイント

5. 成果スキーム図

